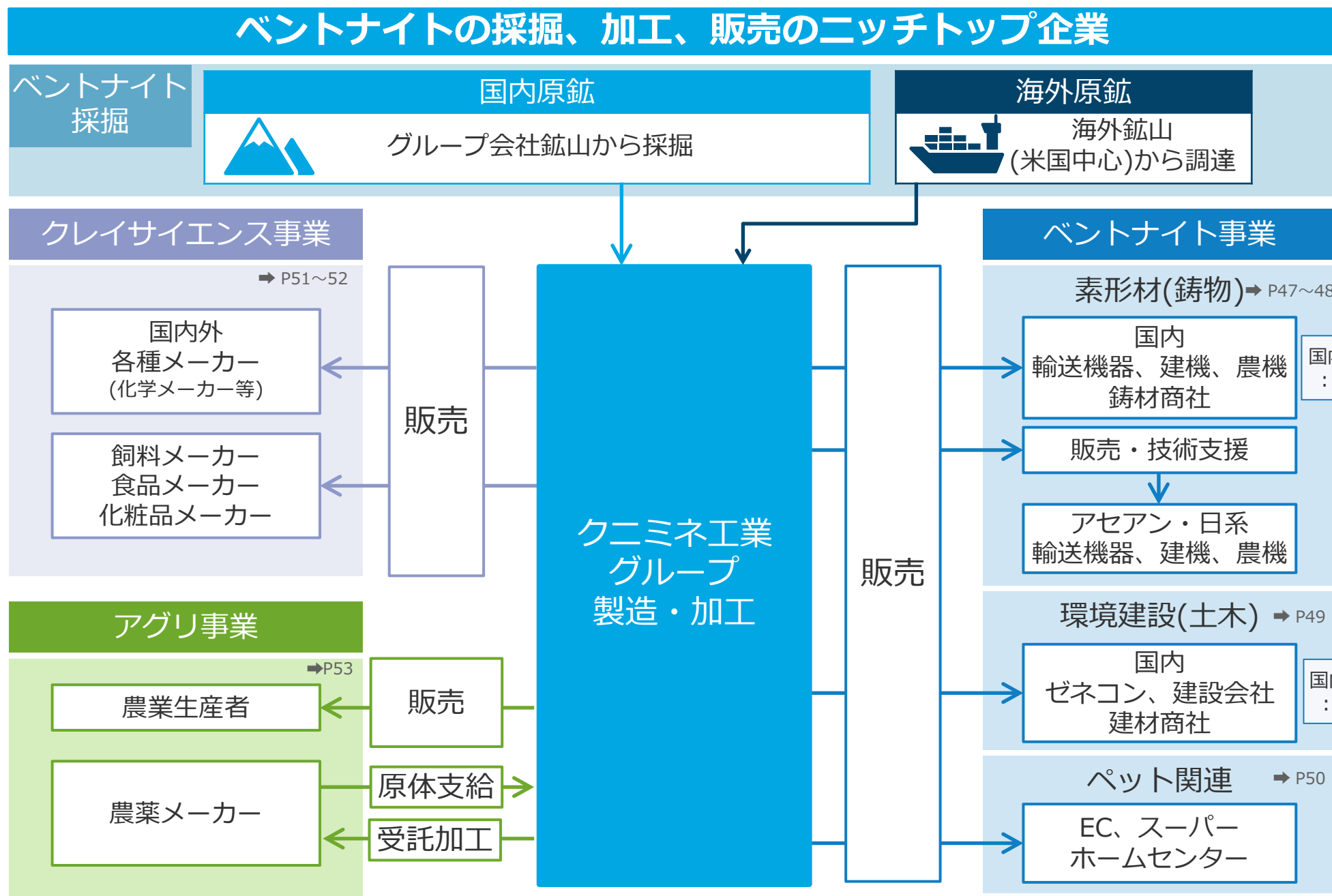


2026年3月期 決算説明資料

2026年6月11日



当社ビジネスモデル・事業目的



■ 当社事業目的

『資源を科学して未来のニーズを創造、産業の発展、社会インフラ整備に貢献する』

当社グループは、貴重な地下資源である「ベントナイト」の採掘・製造・販売事業のほか、ファインケミカル、ライフサイエンス、化粧品の各分野で研究開発を推進するクレイサイエンス事業、農業分野に貢献するアグリ事業を展開しております。未来のニーズを創造することで、お客様に新しい価値を提供し続けます。

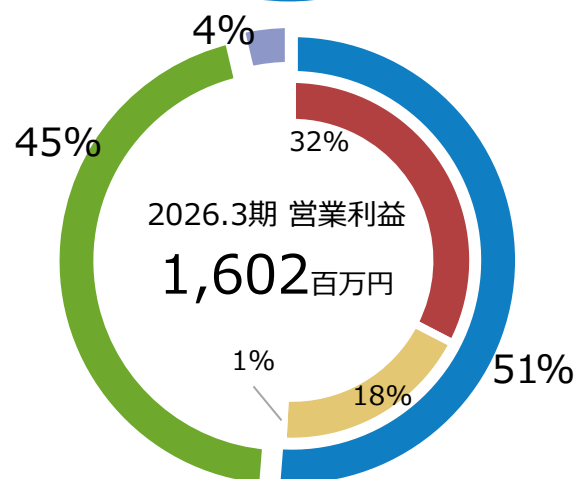
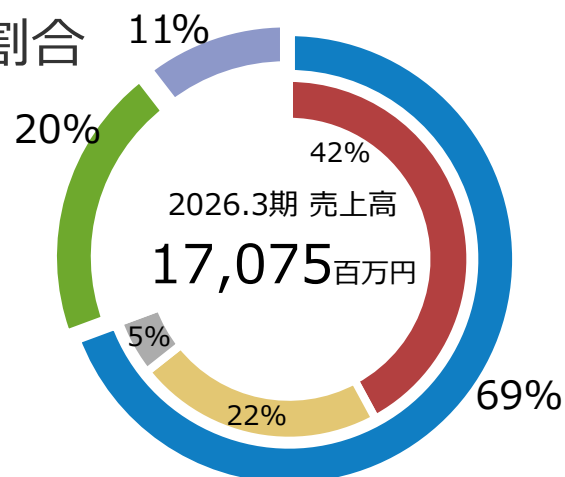
■ 事業別売上・営業利益構成割合

クレイサイエンス事業

粘土素材を科学することで、貴重な地下資源から持続可能な価値を創造し、既存領域の拡大と新規事業の創出を推進

アグリ事業

農薬製剤の生産活動を通じて食の安定供給に貢献し、農業分野の多様なニーズに対応



ベントナイト事業

モンモリロナイトを主成分とする粘土鉱物を加工し、膨潤性・増粘性などの特性を活用して、様々な事業分野に展開

素形材分野

耐熱特性に応じた製品、体系化した技術を通じて、素形材産業にソリューションを提供

環境建設分野

土と水にイノベーションを起こし、地球環境問題に貢献

ペット分野

ペットとの暮らしに快適さを与え、社会に癒しと笑顔を創造

- 1 2026年3月期 決算概要
- 2 2027年3月期 業績予想
- 3 中期経営計画 振り返り
- 4 新中期経営計画 (2027年3月期～2029年3月期)

1/4

2026年3月期 決算概要

売上高	営業利益	経常利益
17,075 百万円 +8.7%	1,602 百万円 +25.1%	1,954 百万円 +23.5%

% : 前年同期比

決算のポイント

- 3期連続増収増益
- 過去最高の売上高
- 営業利益率前期比 1.2pt 改善 (8.2%→9.4%)
- ROE 1.1pt 改善 (5.0%→6.1%)
- 堅調な農薬需要を積極的に取り込む

2026年3月期 決算概要

- 売上高は堅調なベントナイト事業が牽引し、適切な価格改定や販売活動の強化により、期初計画を上回る
- 営業利益は、採算性の高いアグリ事業において需要が増加したことおよび適切な価格改定により、前期比増益
- 当期純利益は、政策保有株式の売却により増加

(百万円)	2025年 3月期	2026年 3月期	前年同期比	2026年 3月期計画	計画比
売上高	15,707	17,075	+8.7%	16,921	+0.9%
営業利益	1,280	1,602	+25.1%	1,616	▲0.9%
経常利益	1,583	1,954	+23.5%	1,840	+6.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,078	1,340	+24.4%	1,274	+5.2%

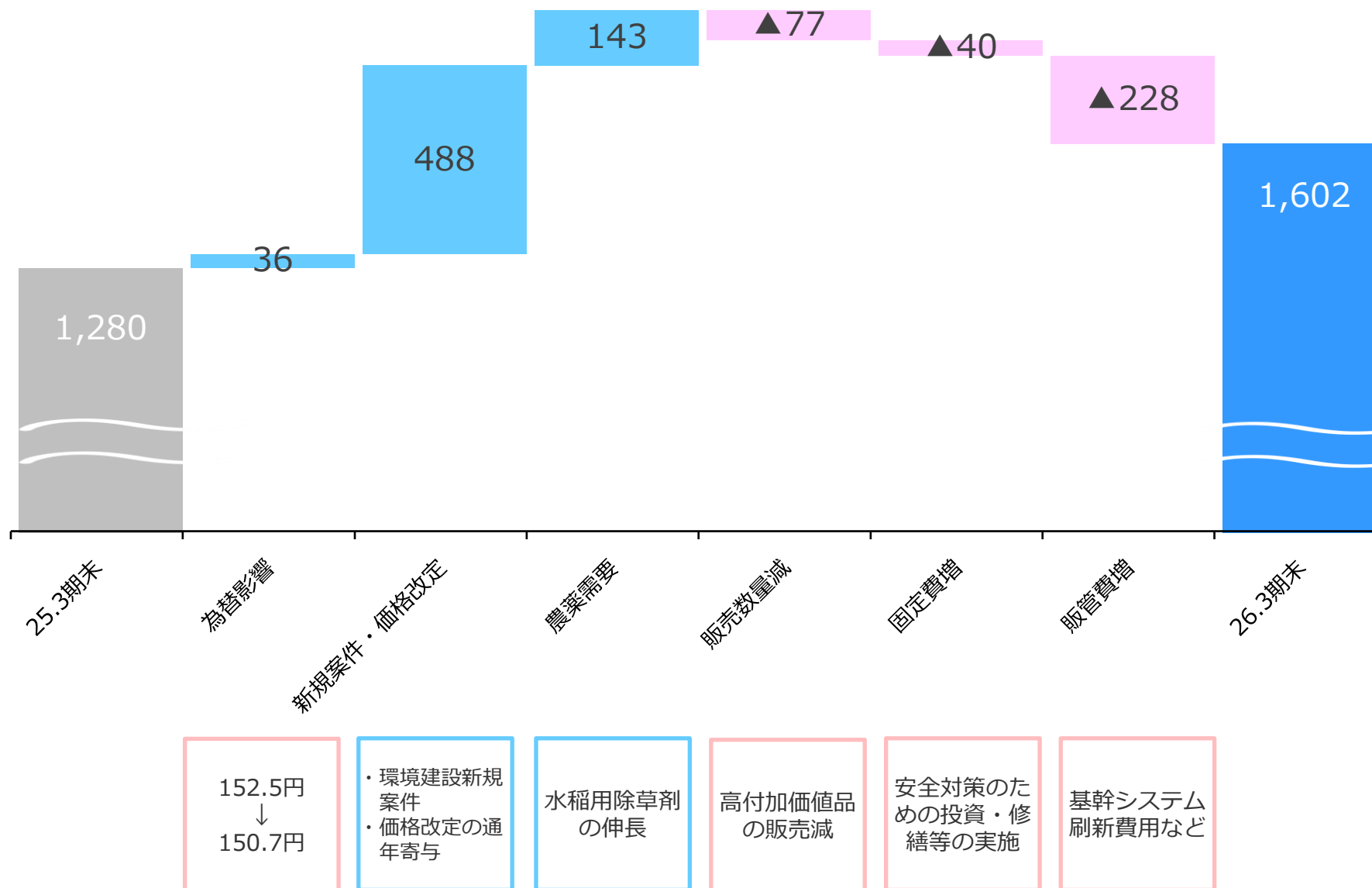
事業別業績概要

(百万円)		25.3期	26.3期	前年 同期比
事業別 売上高	ベントナイト	11,094	11,842	+6.7%
	クレイサイエンス	1,808	1,788	▲1.1%
	アグリ	2,804	3,444	+22.8%
	合計	15,707	17,075	+8.7%
事業別 営業利益	ベントナイト	1,074	1,289	+19.9%
	クレイサイエンス	181	167	▲7.9%
	アグリ	553	829	+50.0%
	合計	1,809	2,286	+26.4%
全社費用含む調整額		▲529	▲683	▲29.1%
営業利益		1,280	1,602	+25.1%

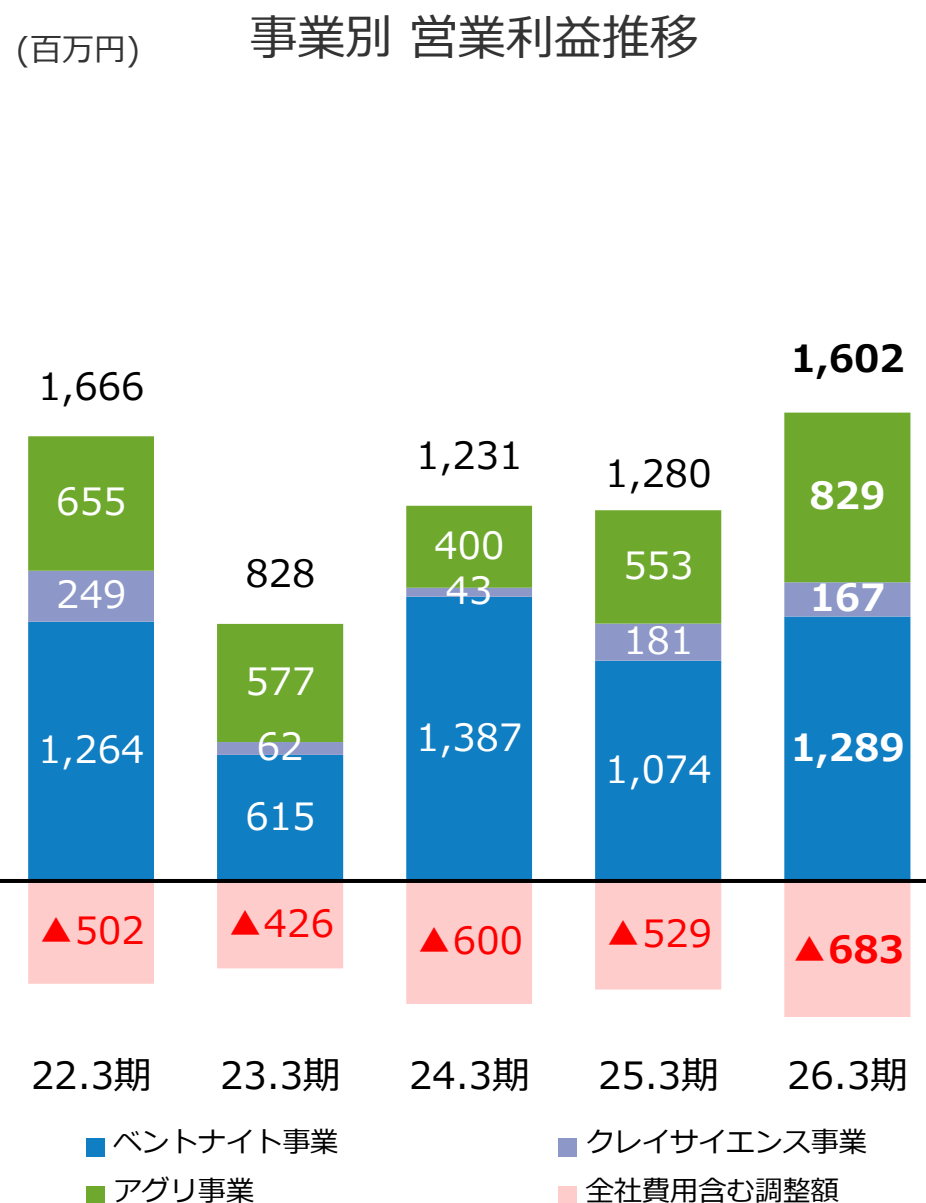
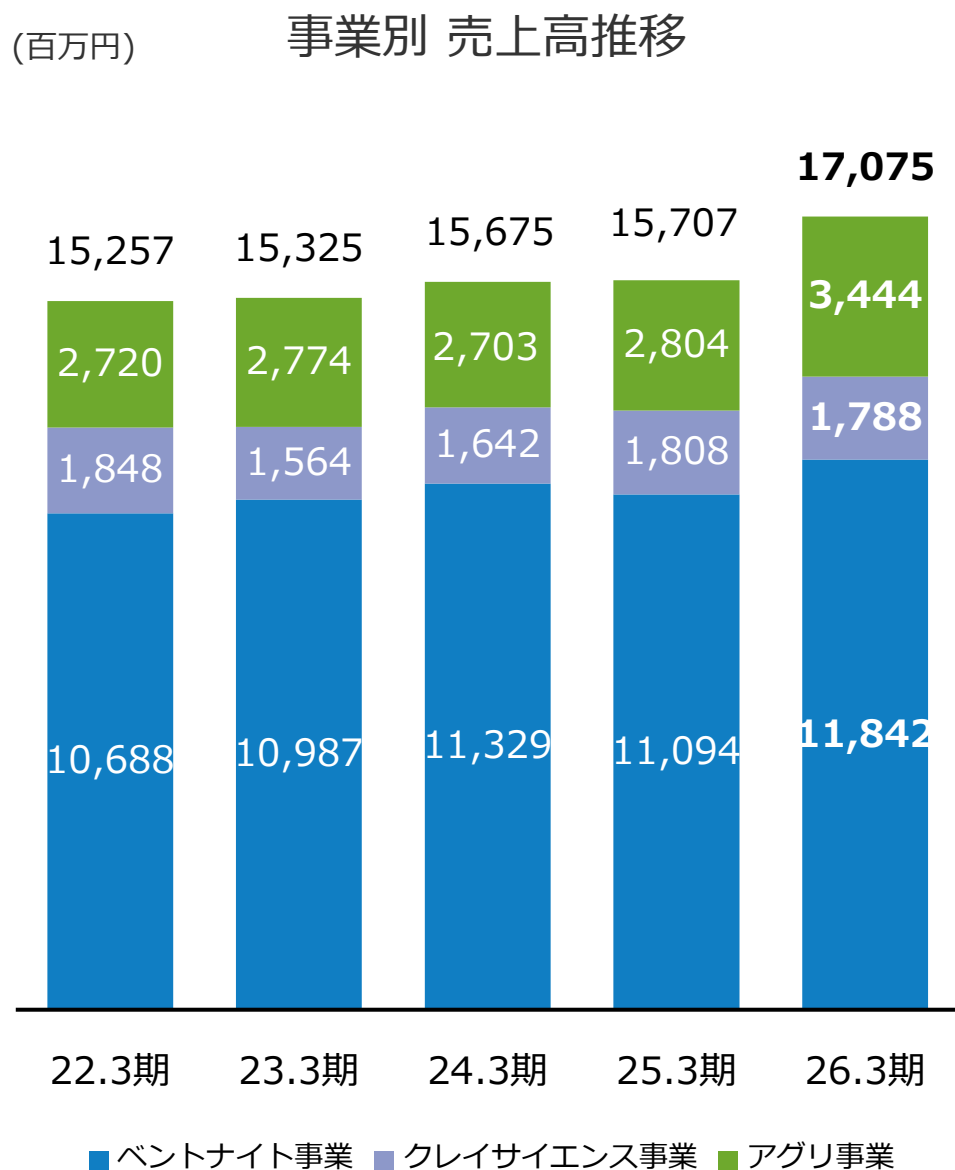
概要
ベントナイト
<ul style="list-style-type: none"> ● 素形材分野の価格改定効果、環境建設分野の地熱発電向け需要が好調に推移したことにより増収増益
クレイサイエンス
<ul style="list-style-type: none"> ● クニピアの化粧品向けは需要増加も、一般工業用途としての輸出向けが減少し減収減益
アグリ
<ul style="list-style-type: none"> ● 受託加工において除草剤等の需要増加や原料販売の価格改定により大幅な増収増益

25.3期→26.3期 営業利益増減要因

(百万円)



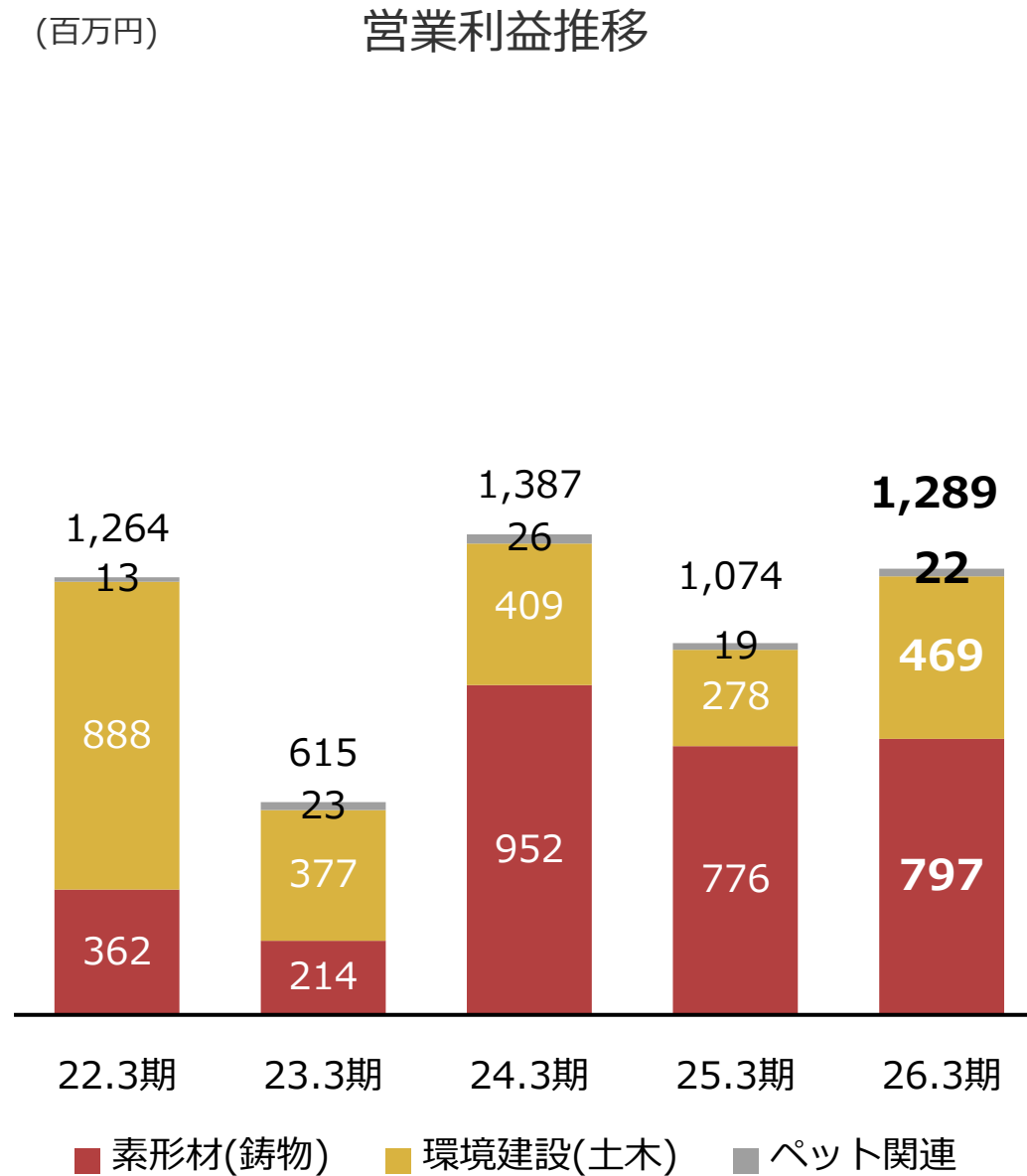
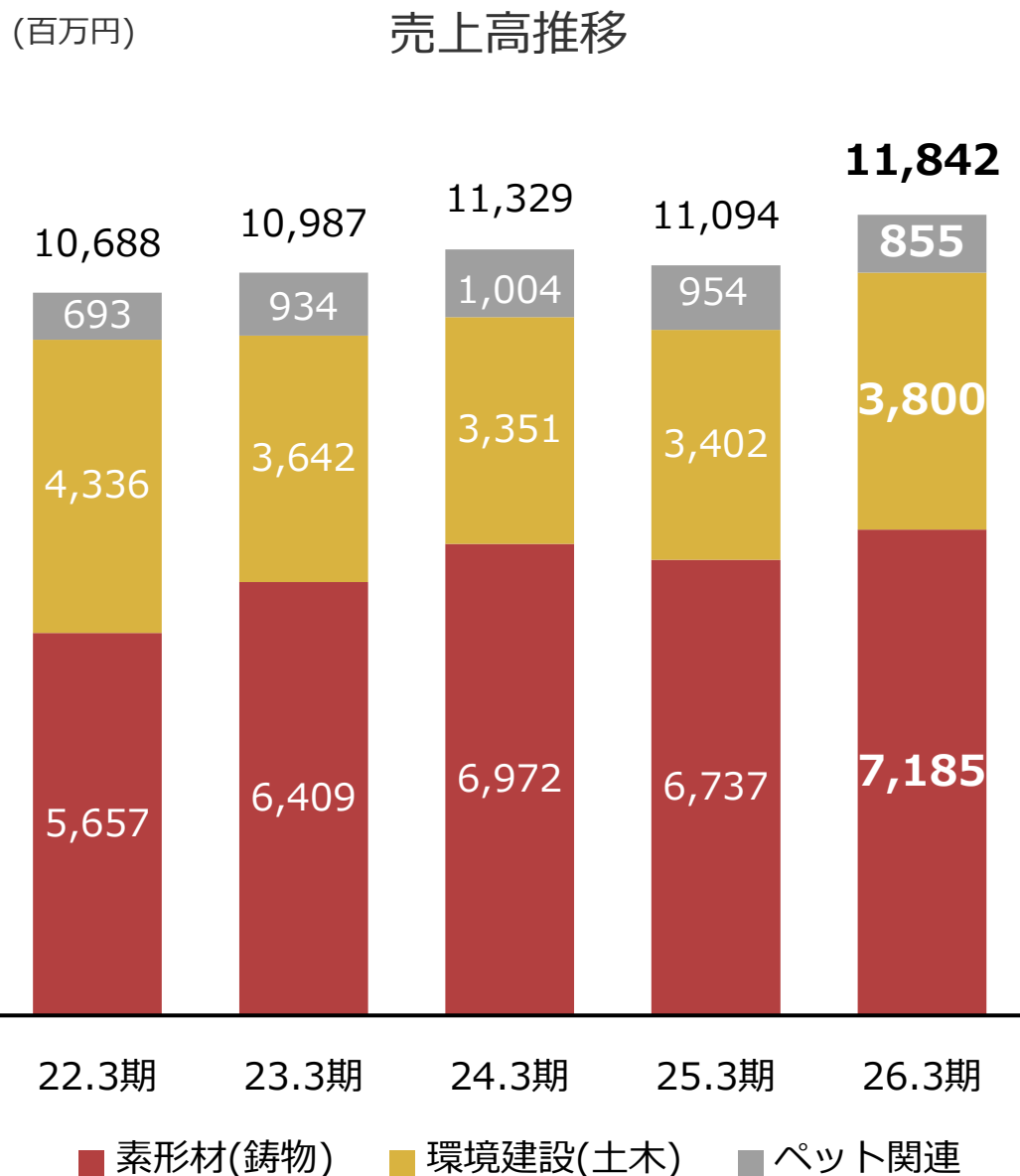
補. 事業別業績推移



ベントナイト事業 分野別業績

		(百万円)	25.3期	26.3期	前年 同期比	概要
分野別 売上高	素形材(鋳物)		6,737	7,185	+6.7%	素形材(鋳物) <ul style="list-style-type: none"> ● 建機・トラック向けの需要が回復したことおよび価格改定効果により増収増益
	環境建設(土木)		3,402	3,800	+11.7%	
	ペット関連		954	855	▲10.4%	環境建設(土木) <ul style="list-style-type: none"> ● 新規工事案件の受注や地熱向けの需要が好調に推移し増収増益
	合計		11,094	11,842	+6.7%	
分野別 営業利益	素形材(鋳物)		776	797	+2.7%	ペット <ul style="list-style-type: none"> ● 中国品との競合で一部取引先への出荷が減少し減収。
	環境建設(土木)		278	469	+68.7%	
	ペット関連		19	22	+15.8%	
	合計		1,074	1,289	+19.9%	

補. ベントナイト事業 分野別業績推移



2026年3月期 貸借対照表の概要

2025年3月期末
総資産 25,839百万円

+1,005
百万円

2026年3月期末
総資産 26,844百万円

(百万円)

流動資産	2,243	流動負債
	1,243	固定負債
17,399	純資産※1	
	22,351	
固定資産		
8,439	自己資本比率	
	83.4%	

(百万円)

流動資産	2,465 +222	流動負債
	1,235 ▲8	固定負債
19,025	純資産※2	
+1,625	23,143	
	+792	
固定資産		
7,819	自己資本比率	
▲620	83.0%	

※1：非支配株主持分は805百万円

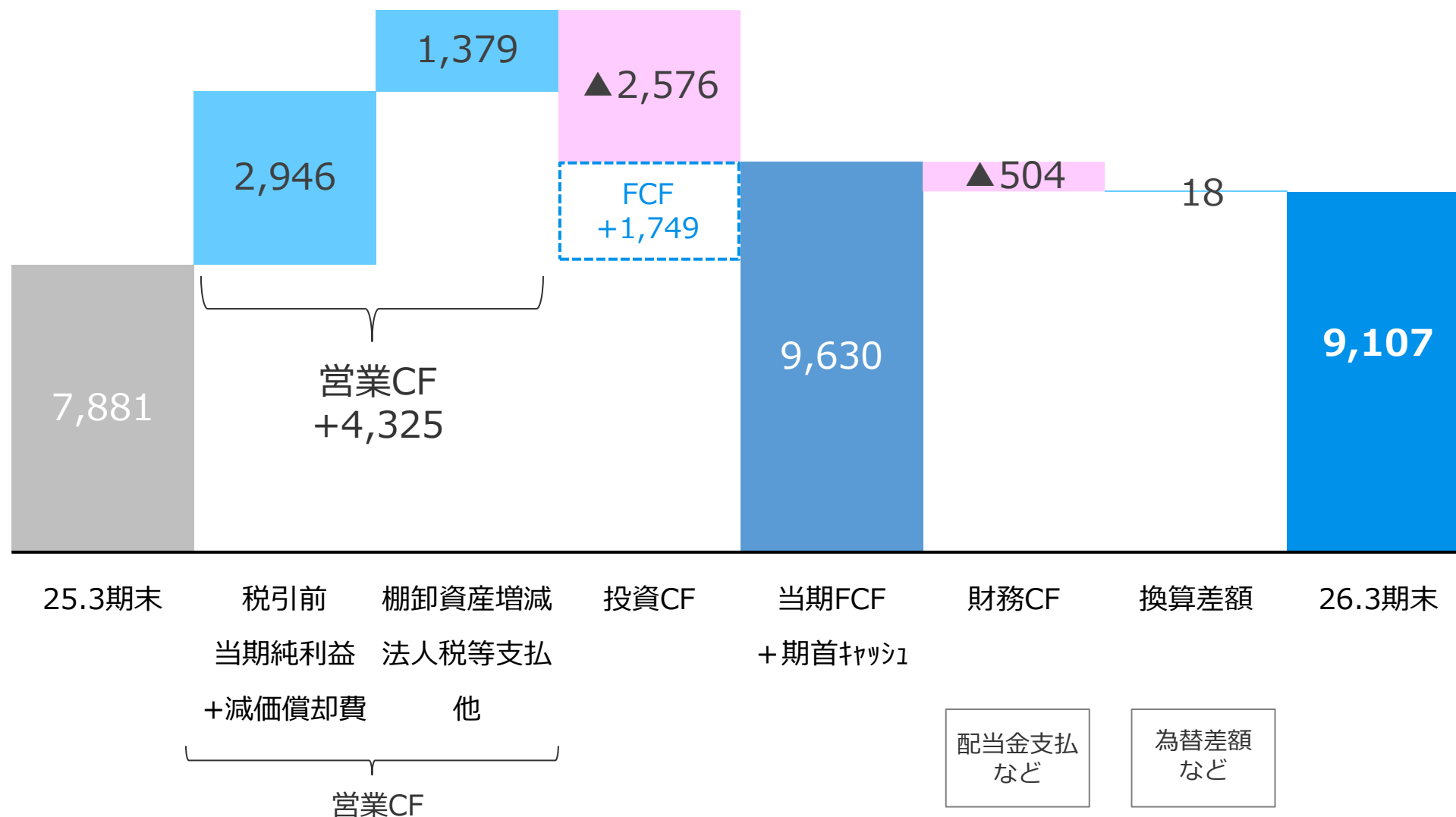
※2：非支配株主持分は873百万円

流動資産：
現金同等物 7,881

流動資産：
現金同等物 9,107

2026年3月期 キャッシュフロー概要

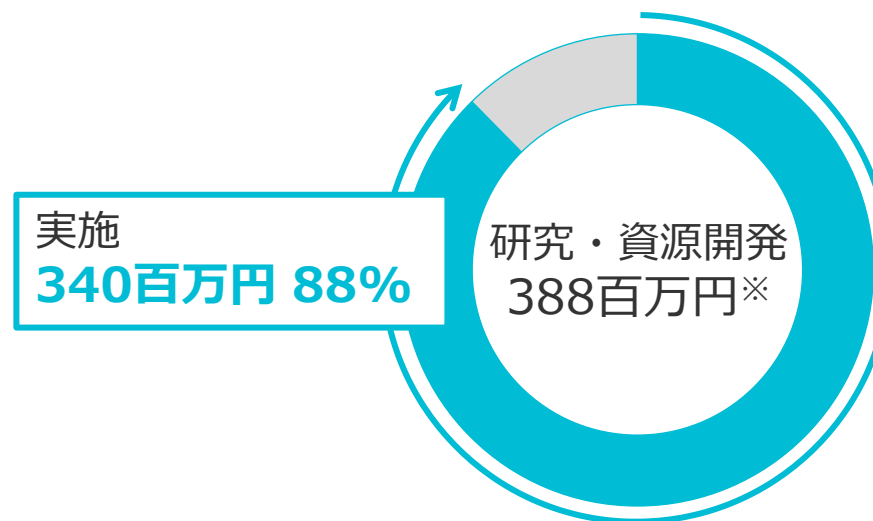
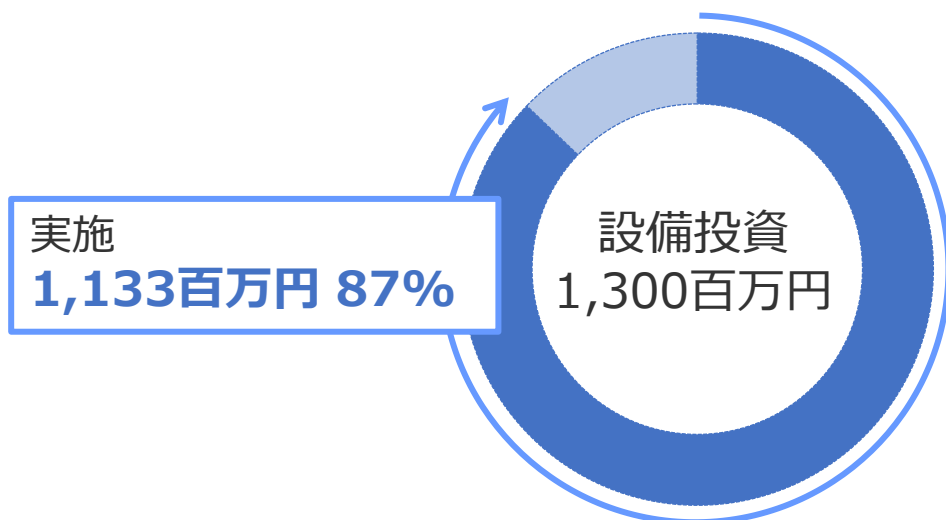
(百万円)



投資計画の状況

■ 計画および実施内容

種類	予算	内容
人材投資	18 百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・役職階層別研修 ・AI研修
設備投資	1,300 百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・生産性向上 ・システム刷新
研究・資源開発	388 百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・資源開発探査 ・採鉱技術開発 ・新製品開発



※ 採掘機器の試作機制作費用含む

2/4 2027年3月期 業績予想

2027年3月期 通期業績予想

- 各セグメントにおいて高付加価値製品への注力や機動的な価格戦略を継続し、増収増益を見込む
- 想定為替レート（米ドル）160円
- 中東情勢の業績への影響につきましては、当社グループに重大な影響を及ぼさないことを前提として予想

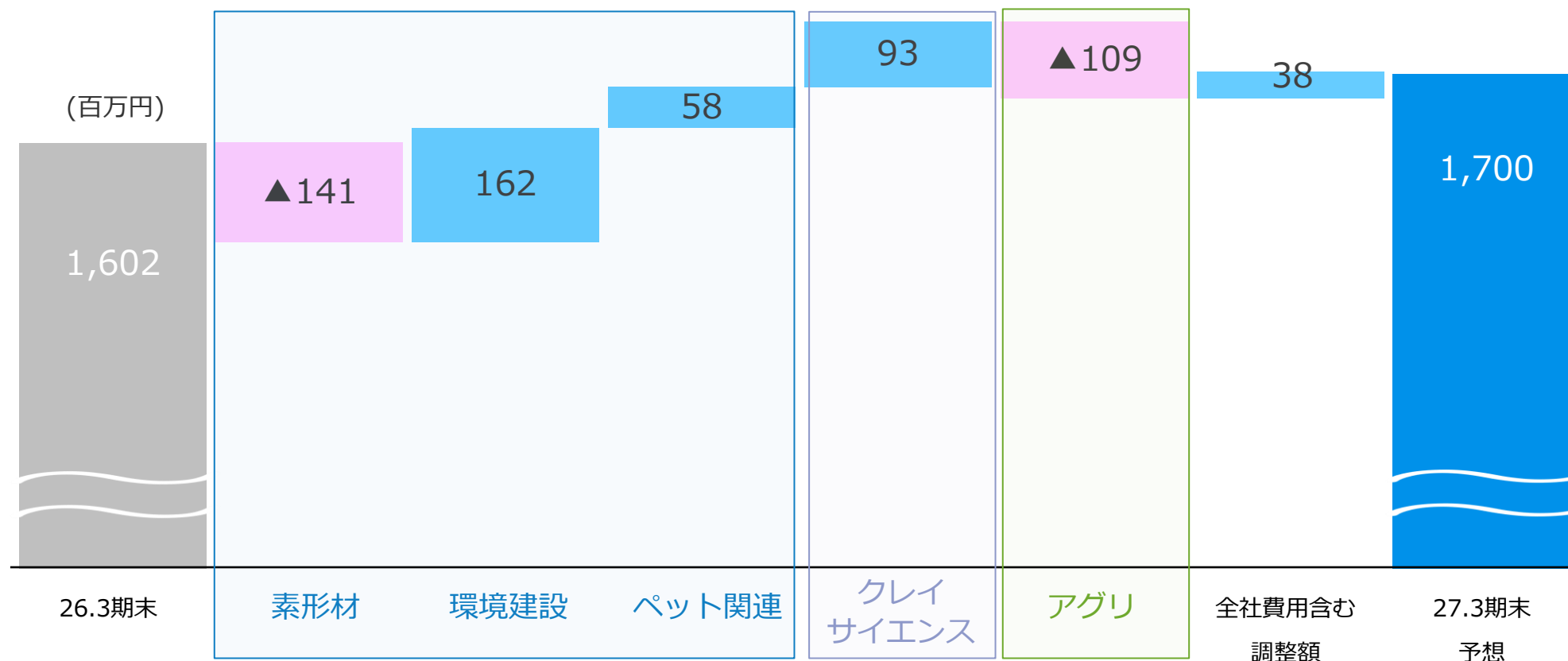
(百万円)	2026年 3月期	2027年 3月期予想	前年同期比
売上高	17,075	18,000	+5.4%
営業利益	1,602	1,700	+6.1%
経常利益	1,954	2,000	+2.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,340	1,350	+0.7%

事業別 上期下期別業績予想

		(百万円)	26.3期 (上期)	26.3期 (下期)	合計	27.3期 (上期予想)	27.3期 (下期予想)	合計
ベントナイト計	売上高		5,736	6,105	11,842	6,450	6,450	12,900
	営業利益		668	620	1,289	690	675	1,365
クレイサイエンス	売上高		883	904	1,788	920	880	1,800
	営業利益		81	85	167	150	110	260
アグリ※	売上高		1,092	2,352	3,444	1,130	2,170	3,300
	営業利益		32	796	829	20	700	720
全社費用含む調整額	—		▲320	▲362	▲683	▲320	▲325	▲645
グループ計	売上高		7,712	9,361	17,075	8,500	9,500	18,000
	営業利益		461	1,140	1,602	540	1,160	1,700

※ 農薬需要の季節変動により下期に収益が偏重

事業別 営業利益増減要因 (予想)



ベントナイト +79百万円
(1,286→1,365)

- ↓ 輸入原鉱の価格上昇 (素形材)
- ↑ 低レベル放射性廃棄物処理向けの本格出荷 (環境建設)
- ↑ 地熱発電向けの堅調な需要の継続 (環境建設)

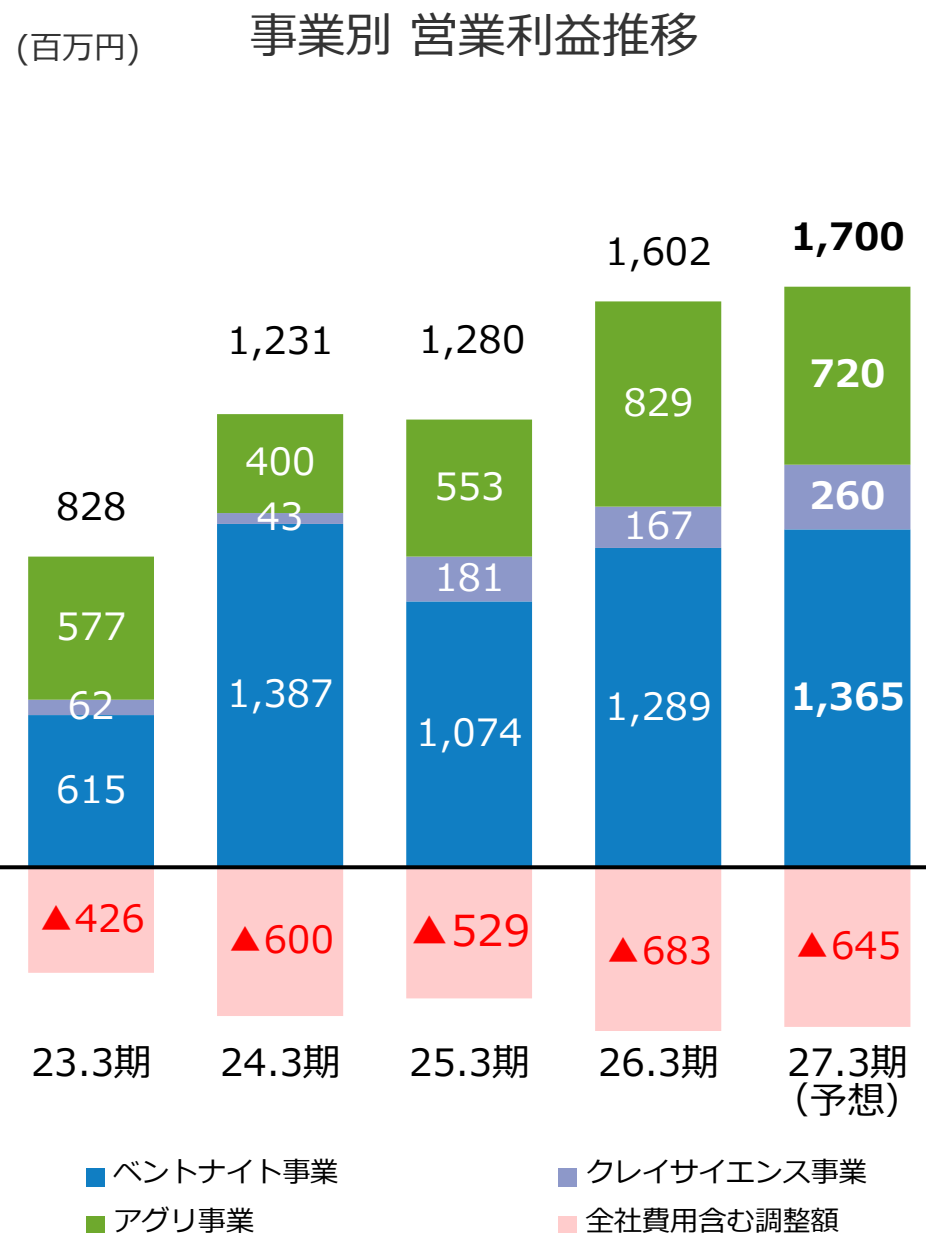
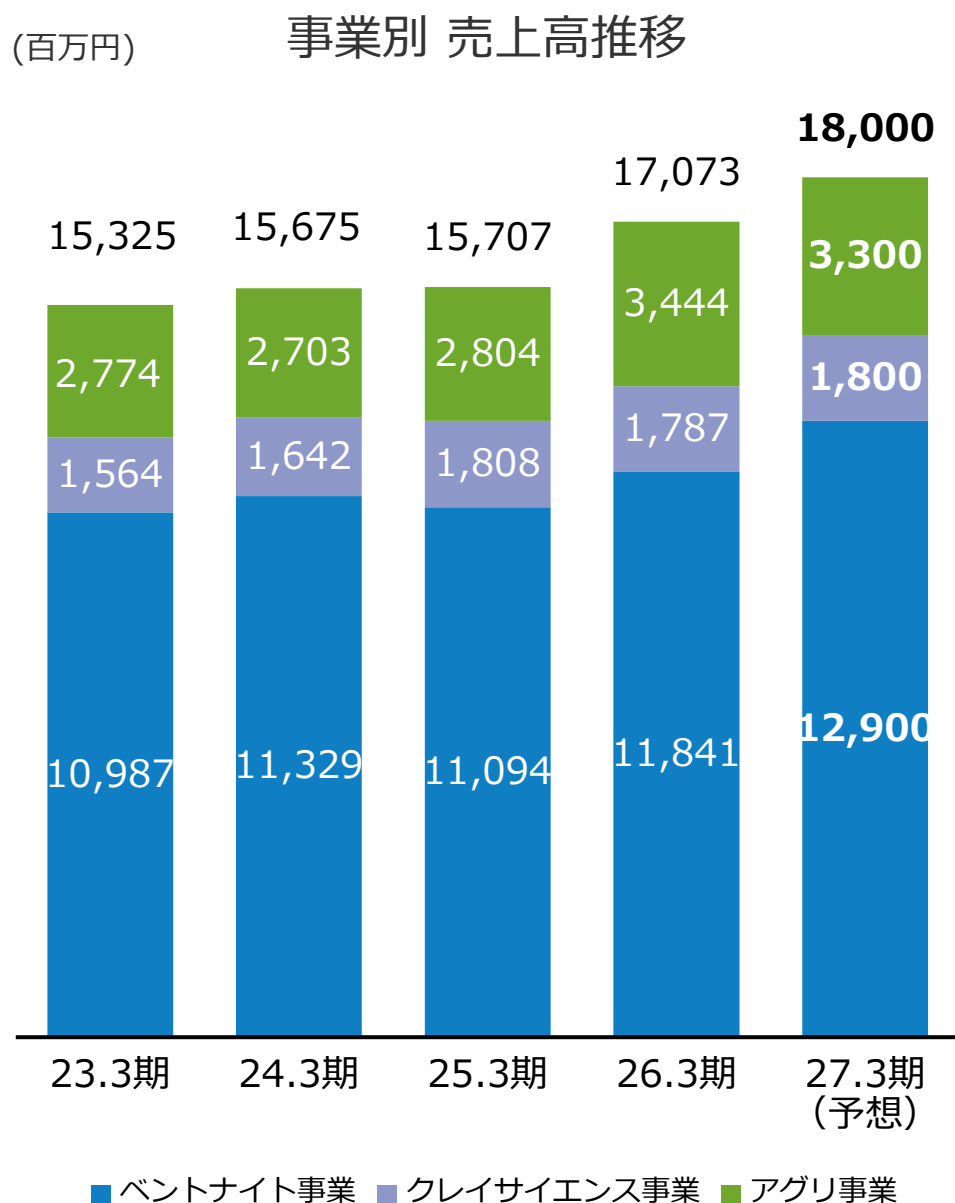
クレイサイエンス +93百万円
(167→260)

- ↑ 化粧品用途向け販売数量の増加
- ↑ コスト構造の見直しによる収益性の改善

アグリ ▲109百万円
(829→720)

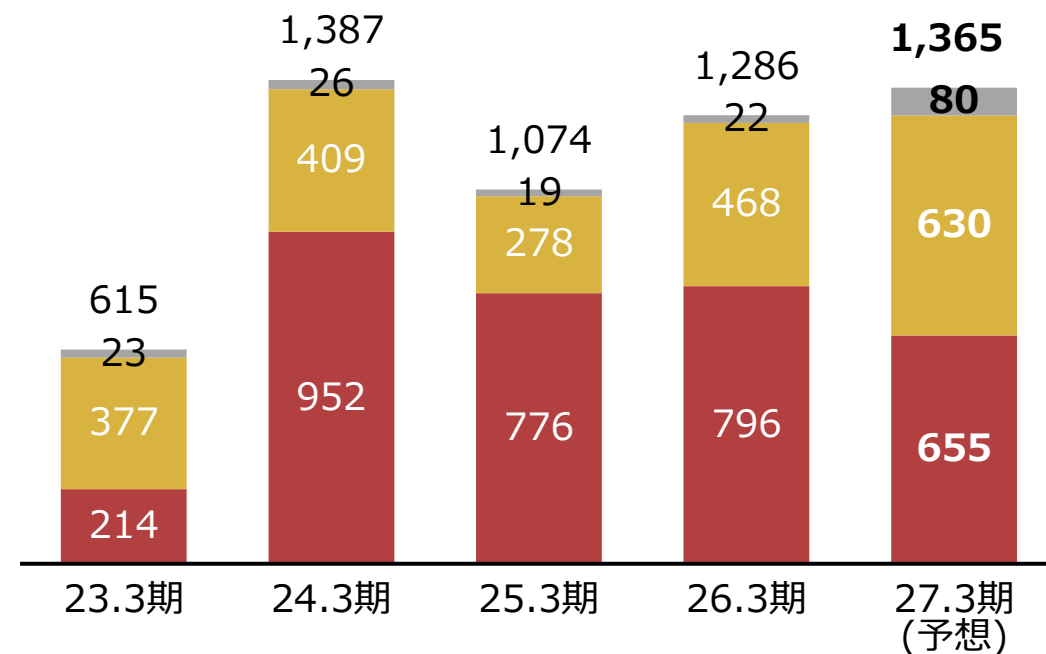
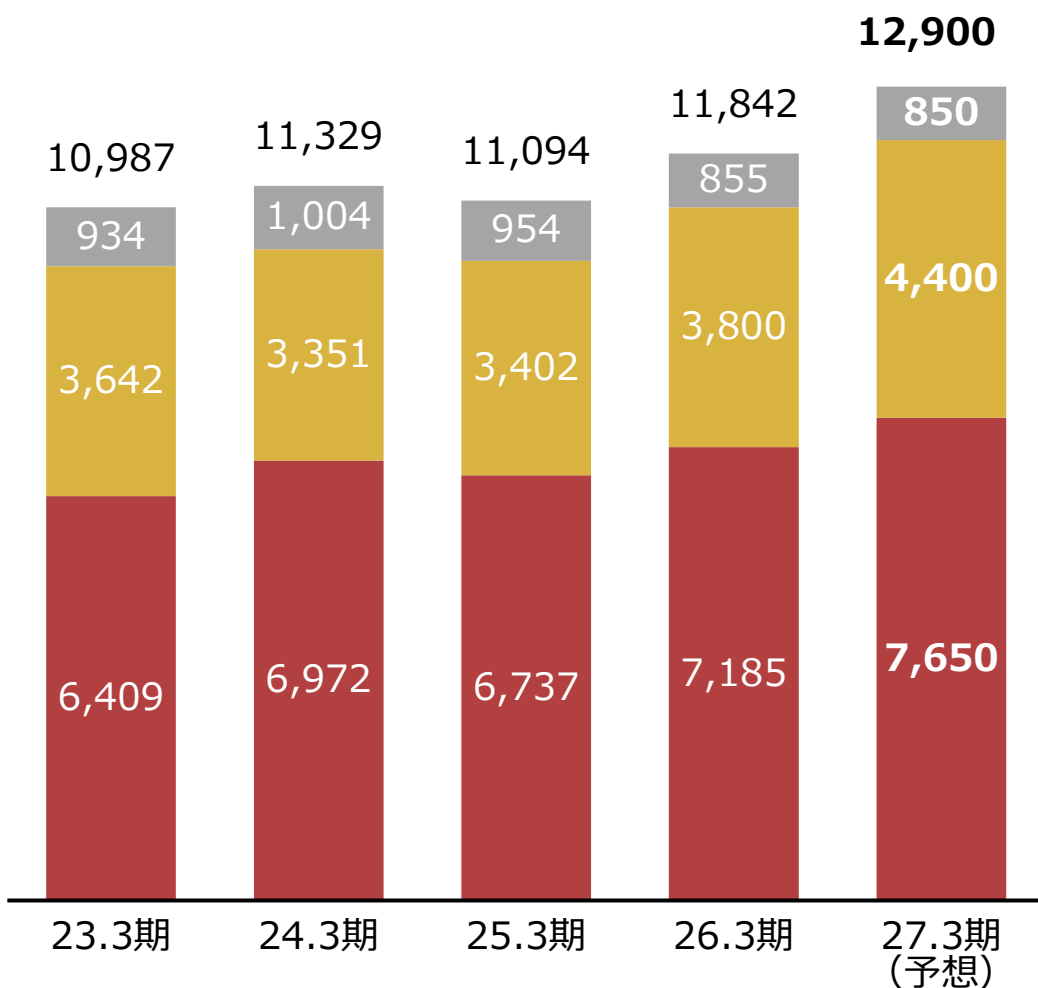
- ↑ 種子コーティング受託の伸長および価格改定
- ↓ 生産能力増強のための設備投資が先行し一時的に減益

補. 事業別業績推移 (予想)



補. ベントナイト事業 分野別業績推移 (予想)

(百万円) 売上高推移 (百万円) 営業利益推移



■ 素形材(鋳物) ■ 環境建設(土木) ■ ペット関連

■ 素形材(鋳物) ■ 環境建設(土木) ■ ペット関連

3/4

中期経営計画 振り返り

中期経営計画振り返り（24.3期～26.3期）

(百万円)	2024.3月期	2025.3月期	2026.3月期	最終年度目標	達成率 (対26.3期)
売上高	15,675	15,707	17,075	16,921	100.9%
営業利益	1,231	1,280	1,602	1,616	99.1%

基本戦略

カーボンニュートラル・国土強靱化関連 静脈産業への取組み

- 地熱発電事業／放射性廃棄物処理事業への注力（環境建設分野）
- 森林整備事業（アグリビジネス分野）
- インフラ整備事業（国土強靱化）の取込み（環境建設分野）

新規事業領域拡大

- 種子コーティング技術（アグリビジネス分野）
- ガスバリア材料（ファインケミカル分野）
- 3D細胞培養（クレイサイエンス分野）
- 化粧品UVケア（クレイサイエンス分野）

海外市場展開・海外鉱探査

- 素形材分野、ファインケミカル分野、ライフサイエンス分野のアセアン市場展開
- 高品質原鉱の安定調達に向けた海外鉱利用

企業体質強化

- 人的投資強化(教育+待遇面)
- ESG経営及びDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- 新鉱区開発、新採掘法開発

3年間の取組み状況と課題

基本戦略	主な実績（金額：百万円）			実績および課題
	2024.3期	2025.3期	2026.3期	
1.カーボンニュートラル・国土強靱化関連・静脈産業への取組み				
地熱発電向け売上高	305	361	564	二セコの開発現場における水蒸気噴出事故の影響により一時出荷減少も、開発再開を機に好調に推移。
放射性廃棄物処理案件売上高	0	0	38	当初計画より後ろ倒しとなるも、2026年3月期に一部出荷開始。2026年4月より本格的な出荷を開始している。
2.新規事業領域拡大				
種子コーティング受託売上高増加率（対前期比）	+127%	+88%	+33%	当初想定どおり着実に受託数量を伸ばしており、今後も継続的な成長を見込む。
クレイサイエンス新用途売上高	208	262	280	化粧品用途で高機能品のニーズ高まりを受け出荷増。販売強化により他用途の早期拡大を図る。
3.海外市場展開				
クニミネタイ売上高	565	483	503	中国勢の参入や内需の弱さにより当初想定を下回る。今後はインドネシアやインド市場への展開が期待される。
輸出向け売上高	110	160	166	化粧品分野の米国・韓国向けの売上増加が寄与。今後は米国においてさらなる需要増が見込まれる。

4/4 新中期経営計画 (2027年3月期～2029年3月期)

- クニミネグループの永続的な社会貢献と企業成長に向け、新しい価値の創造、既存ビジネスの転換や進化を行うべく、外部環境を踏まえた長期ビジョンを設定
- 長期ビジョンおよび前中計の課題を踏まえた、新中期経営計画を検討

■ 経営理念

- ・ 『経世済民』の理念に基づき、経済的側面から國の繁栄に貢献
- ・ ベントナイトという自然の恵みを最大限に活用し、社会の為に役に立つ商品・サービスを提供

■ 長期ビジョン・方針

産業変革を支える機能材企業として進化する

- ベントナイトと有機的関連のある事業の展開
- ニッチトップの優位性を活かした差別化の推進
- エネルギーやライフサイエンス、AI関連等の成長領域への拡張
- 資源産業特有の制約を前提とした品質向上・資源確保
- 経営管理の高度化、経営戦略を実行できる人材の育成

経営理念 Philosophy

長期ビジョン

Vision

経営計画

Plan

前中計課題

新中期経営計画

基本方針

過去にとらわれない柔軟な発想で、
当社の強みを生かした差別化戦略を推進

主要数値目標（最終年度）

営業利益
(2026年3月期比増加)

26億円
(+62.3%)

売上高営業利益率

13.0%

ROE

8.0%以上

脱炭素関連、国土強靱化関連等の成長分野への注力

- 地熱発電／放射性廃棄物処理案件の継続的獲得（ベントナイト事業 環境建設分野）
- 社会インフラ整備需要の取込み（ベントナイト事業 環境建設分野）

海外市場展開の促進

- アジア市場での販売強化（ベントナイト事業 素形材分野）
- 先端機能材料のアジア・欧米市場への展開（クレイサイエンス事業）

新規事業領域の創出・拡大

- 種子コーティングの受託拡大（アグリ事業）
- 蓄電デバイス、工業用研磨用途への参入（クレイサイエンス事業）
- 三次元細胞培養技術の試薬・創薬分野への展開（クレイサイエンス事業）

経営基盤強化

- 国内新鉱区開発投資
- 新たな採掘技術の開発
- 人材投資およびDX推進

経営数値目標

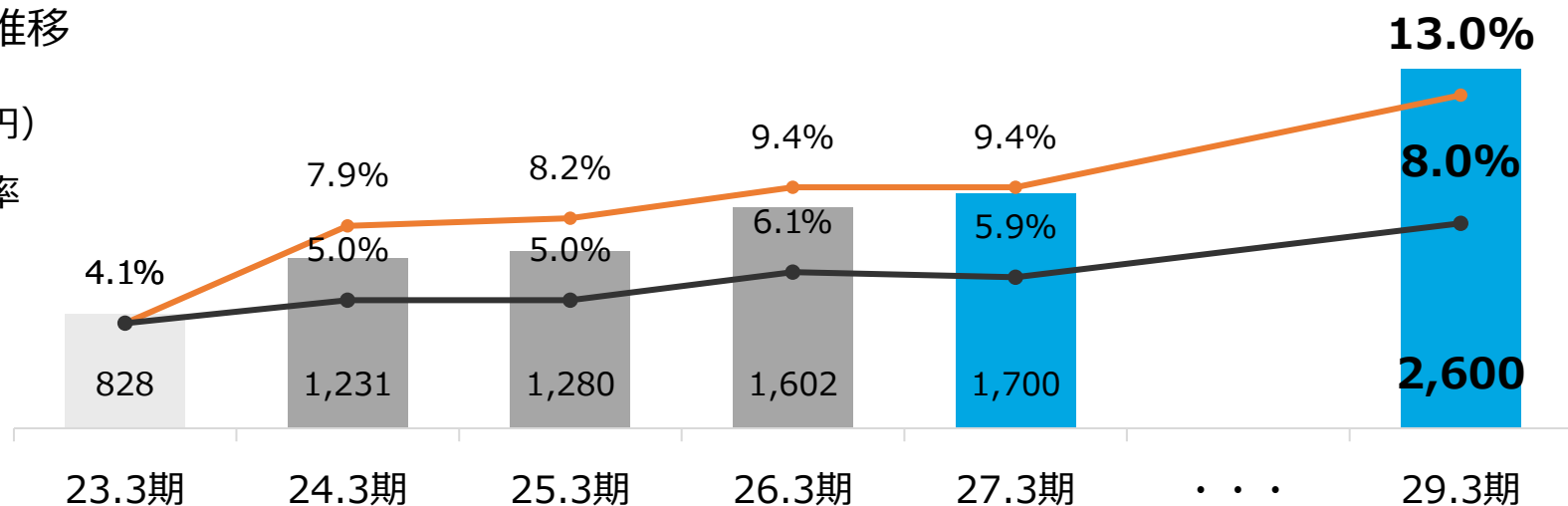
中計2023~2025

中計2026~2028

	2023.3月期	2024.3月期	2025.3月期	2026.3月期	2027.3月期	2028.3月期	2029.3月期
売上高 (百万円)	15,325	15,675	15,707	17,075	18,000	・ ・	20,000
営業利益 (百万円)	828	1,231	1,280	1,602	1,700	・ ・	2,600
売上高営業利益率	4.1%	7.9%	8.2%	9.4%	9.4%	・ ・	13.0%
ROE	4.1%	5.0%	5.0%	6.1%	5.9%	・ ・	8.0%以上
設備投資 (百万円)	856	987	1,077	1,133	年度平均		1,300
研究開発投資 (百万円)	290	273	307	340	年度平均		400

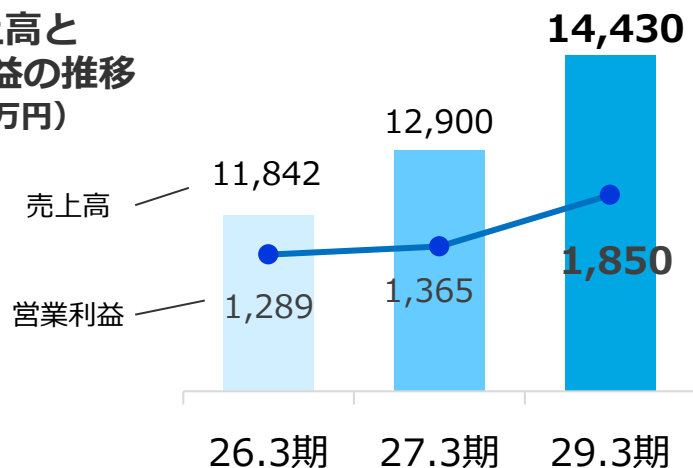
● 主な経営指標の推移

- 営業利益 (百万円)
- 売上高営業利益率
- ROE

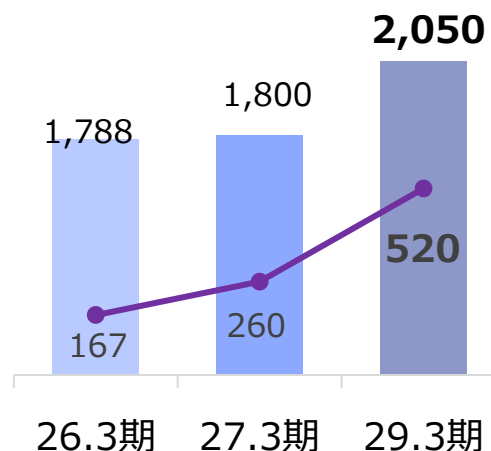


ベントナイト事業

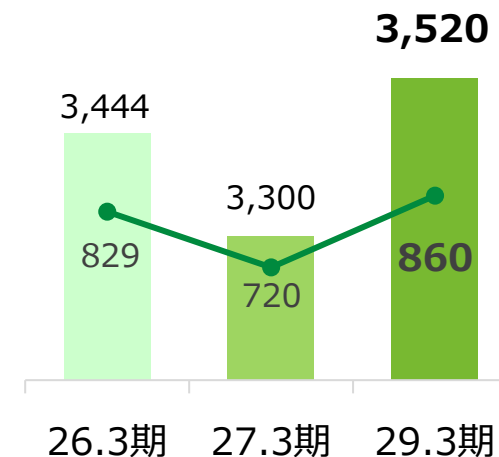
売上高と
営業利益の推移
(百万円)



クレイサイエンス事業



アグリ事業



達成に向けた 取り組み

- 低レベル放射性廃棄物処理
2026年4月より本格出荷開始。
2028年9月分まで継続的な出荷を予定。
- 地熱発電
「第7次エネルギー基本計画」において、2040年度の電源構成における地熱の割合を現状の0.3%から1~2%まで引き上げる見通しとしており、今後の開発促進が見込まれる。

- 化粧品
天然由来の無機鉱物であり、皮膚刺激が少ないといった強みに加え、吸着性や分散安定性といった多機能性に着目し、欧米を中心とした海外展開を見込む。
- 三次元細胞培養
三次元細胞培養を行うための添加剤Kuni-Grow+を一昨年上市したが、試薬向けに加え創薬向けの展開も見込む。

- 種子コーティング
稲作において生産者の負担低減に寄与するものとして、委託元が拡大を図っており、今後も生産数量増を見込む。
- 生産能力増強
農薬全般の需要増加や顧客ニーズの変化に対応すべく生産能力増強のための設備投資を実施。受託案件の拡大を見込む。

■ 地熱発電

地熱発電は、CO2をほとんど出さずにエネルギーを作り出すことができるクリーンな発電方法です。

地上で降った雨は、地下の高温マグマ層まで浸透すると、マグマの熱で蒸気になって地下1,000m～3,000m付近に溜まります。井戸などを掘ってこの高温の蒸気でタービンを回して発電するのが、地熱発電の一般的なしくみです。

地下1,000mを超える井戸などを掘削する際に、ベントナイトを活用して掘削孔の壁に泥壁を形成することで、崩壊を防止しています。

● 地熱発電所外観



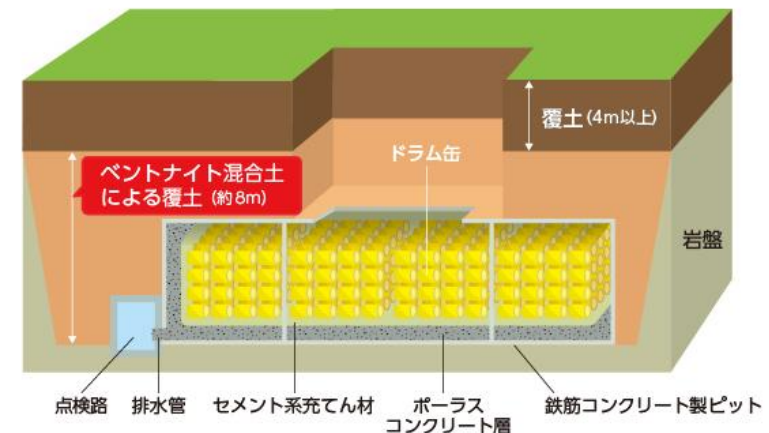
■ 低レベル放射性廃棄物処理

原子力発電などで発生した低レベル放射性廃棄物の処理・処分は、核燃料サイクルの中で重要な役割を担っているとともに、老朽化した原子力発電所の解体などにおいても必要とされています。

ベントナイトはこれらの処分において、廃棄物からの放射性物質の漏えいを防ぐための遮水性亀裂などを充填する自己シール性など様々な性能が期待でき、充填材、緩衝材の候補材料となっています。

当社では30年以上前から、この分野において、試験材料の提供や受託試験研究などを続けております。

● 浅地中ピット処分イメージ (資源エネルギー省ホームページより)



■ 三次元細胞培養技術

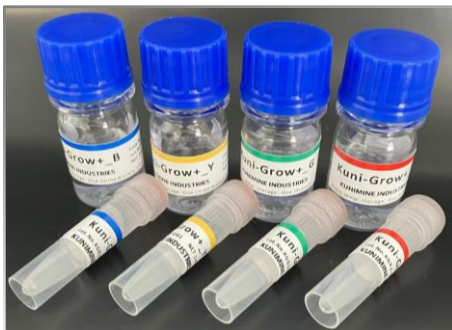
三次元細胞培養は、古くから行われている平面培養（二次元培養）では得られない高い細胞活性が見られる事から、薬物試験や、動物実験の代替、再生医療など、様々な分野で注目されている培養法です。

当社は、三次元培養を簡便に行うための添加剤「Kuni-Grow+」を大阪大学との共同研究で開発いたしました。

癌細胞実験において、従来の2次元培養向けの基本的な培地に添加するだけで、細胞株を効率よく3次元的に培養し、また、高価な培地や容器が必要な培養実験を安価で行うことが可能となります。

癌細胞だけでなく様々な細胞培養への活用に向け、研究開発を継続し、三次元細胞培養を通じて医学発展に貢献できる培養ビジネスのモデル確立を目指しています。

● Kuni-Grow+



■ 種子コーティング技術

種子コーティングとは、種子の表面にさまざまな物質をコーティング（被覆）する農業技術であり、発芽や初期生育を助ける目的で行われています。

主に水稻において、種子コーティングの活用により直播栽培*の普及が促進され、農業生産者の減少や高齢化が課題となっている我が国において、農業生産の省力化やコストダウンにつながることが期待されています。

当社が長年に亘り培ってきた農薬加工における製剤技術を応用し、時代の変化に対応できる新しいコーティング技術の確立を進めています。

※直播栽培：苗を育てずに田んぼや畑に種を直接撒く栽培方法

【イメージ図】



株主還元方針

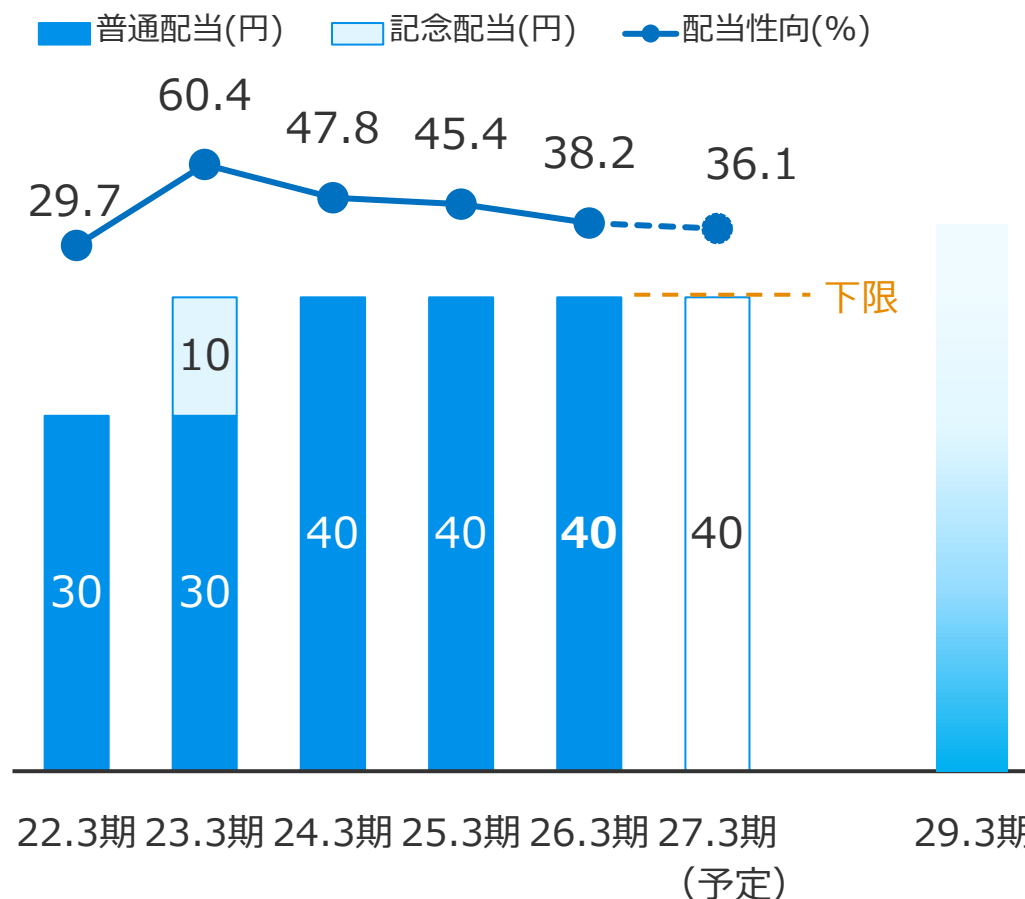
- 当社グループは「株主の皆様に対する安定的な利益還元」を経営の最重要課題のひとつとしており、継続的な利益還元に努めてまいります
- 27.3期も継続して、1株当たり15円の間配当、25円の期末配当を予定しております

配当の具体的方針

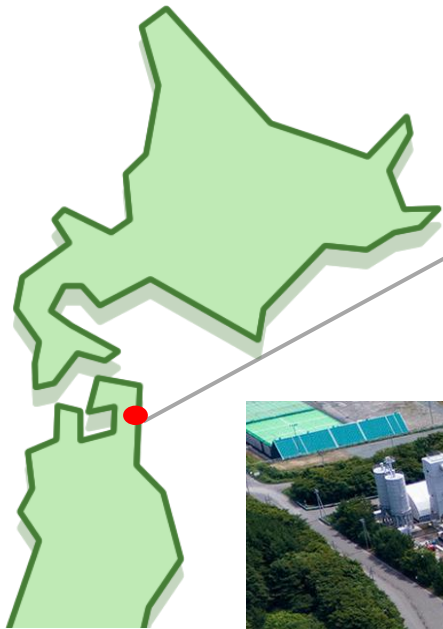
- ✓ 配当性向30%を目安
- ✓ 1株当たり配当金の下限を40円に設定

安定配当を継続し、
中長期的には利益向上による
増配を目指してまいります

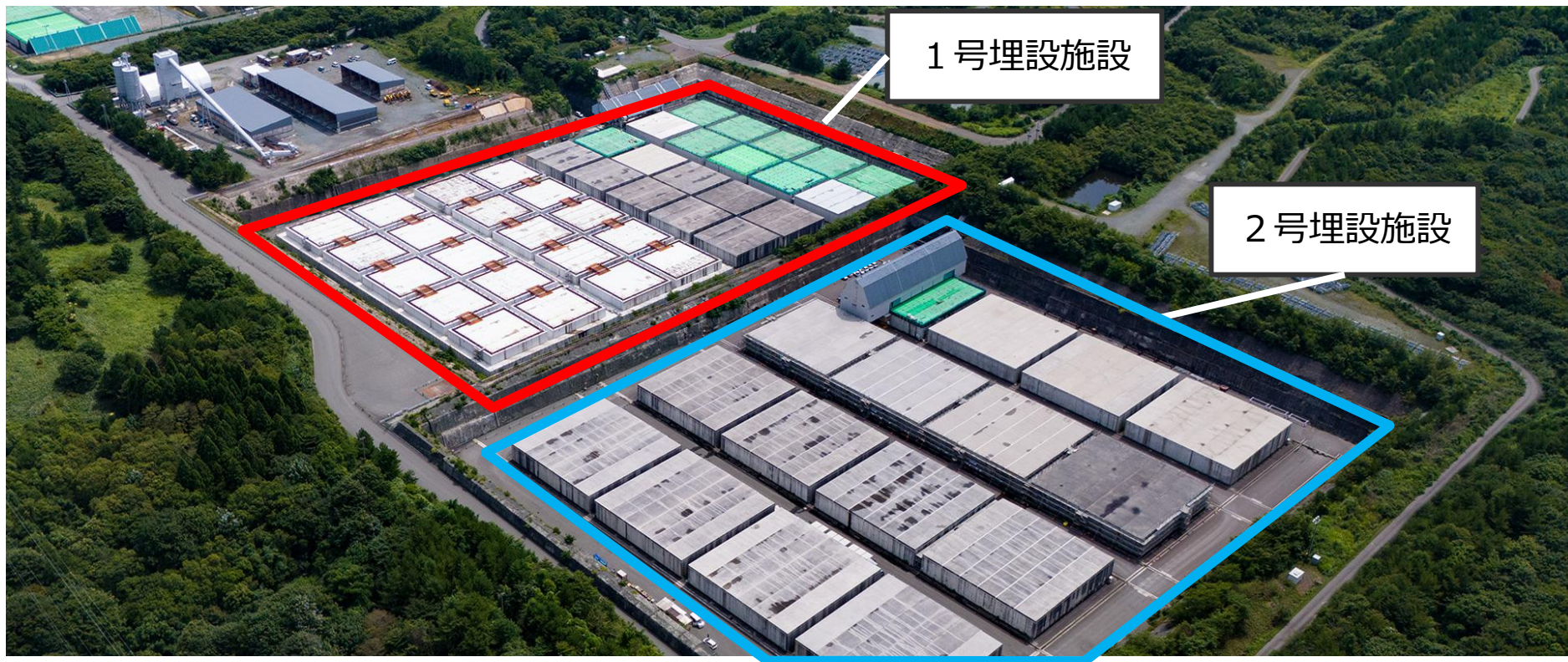
配当金・配当性向推移



低レベル放射性廃棄物処理案件について



六ヶ所低レベル放射性廃棄物埋設センター
(青森県上北郡六ヶ所村)



(出典) 日本原燃ウェブサイト
<https://www.jnfl.co.jp/ja/business/about/llw/summary/>

低レベル放射性廃棄物とは

- 原子力発電所などで発生する放射性廃棄物のうち、使用済燃料などの高レベル廃棄物を除いた、比較的放射能レベルの低い放射性廃棄物の総称
- 原子力発電の過程では、施設の運転や保守、解体などに伴い継続的に低レベル放射性廃棄物が発生し、廃棄物の種類に応じ適切な処理・処分が必要

廃棄物の種類		主な発生源	例	処分の方法（例）
低レベル放射性廃棄物	放射能レベルが極めて低いもの（L3廃棄物）	原子力発電所	コンクリート、金属など	トレンチ処分
	放射能レベルが比較的低いもの（L2廃棄物）	原子力発電所	フィルター、廃器材等	ピット処分
	放射能レベルが比較的高いもの（L1廃棄物）	原子力発電所	制御棒、炉内構造物	中深度処分
	ウラン廃棄物	ウラン濃縮・燃料加工施設	スラッジ、廃器材等	中深度処分、ピット処分、トレンチ処分
	超ウラン核種 ^{注1} を含む放射性廃棄物（TRU廃棄物）	MOX燃料加工施設 使用済燃料再処理施設	燃料棒の部品、廃液、フィルター等	地層処分、中深度処分、ピット処分
高レベル放射性廃棄物		使用済燃料再処理施設	ガラス固化体	地層処分

（出典）原子力規制庁「令和6年度版 原子力白書」（P180）
<https://www.aec.go.jp/kettei/hakusho/2024/pdf/6.pdf>

受注の背景・ベントナイトの役割

- ベントナイトのリーディングカンパニーとして、様々な研究機関と共同で研究を行い、有効なデータを蓄積を進めるとともに連携強化を図ってきた
- 当社製品「クニゲルV1」がもつ、遮水性や締固め特性、また、それらの性能を長期にわたり維持できる安定性が評価され、受注に至る
- 埋設施設への地下水の侵入抑制、廃棄物からの放射性物質の漏出や移行の抑制を目的として、ベントナイトが使用される

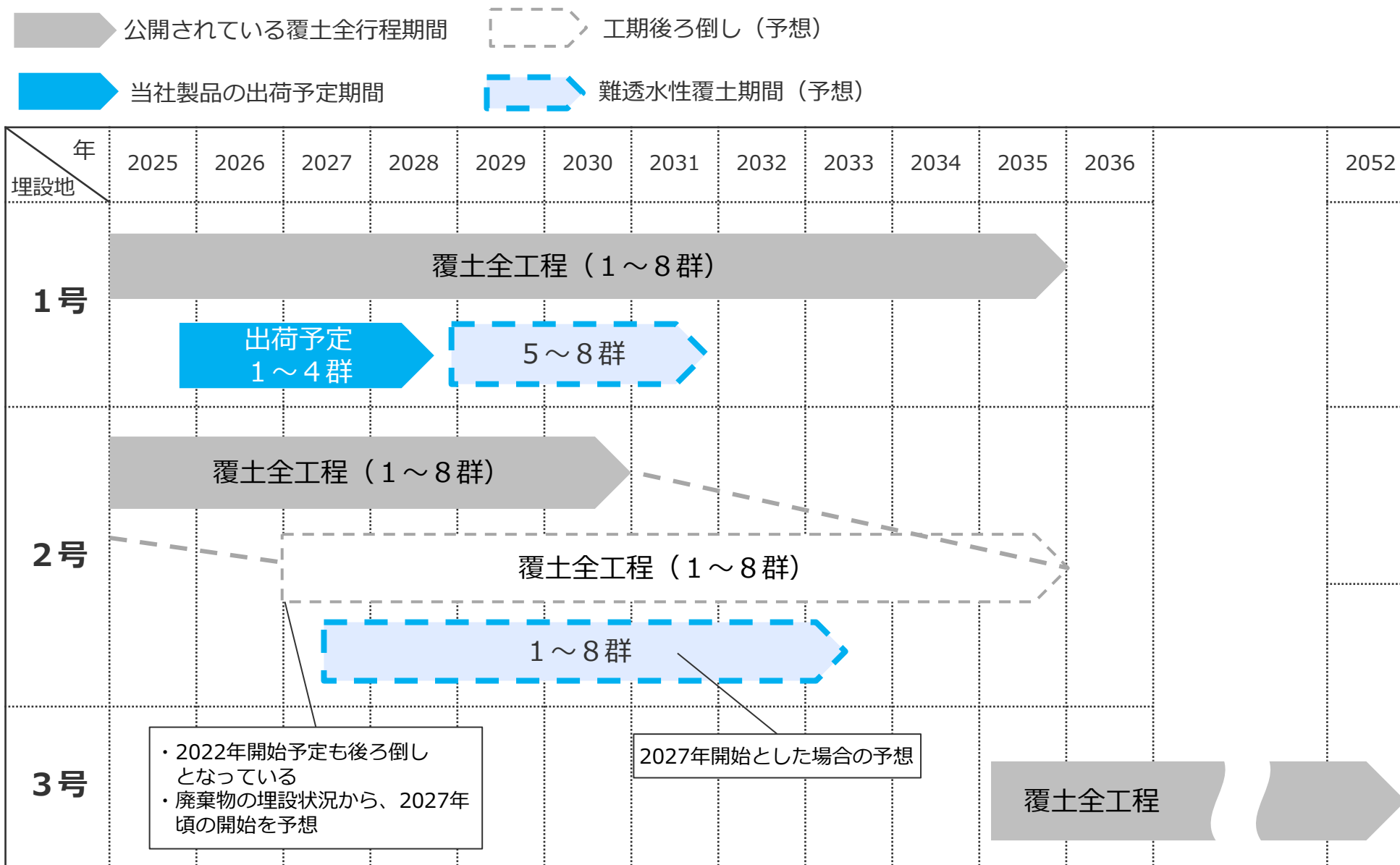
● 埋設地の構造（1号廃棄物埋設地）



クニゲルV1は、覆土構造の中核となる「難透水性覆土」の原料として利用される

(出典) 原子力規制庁「令和6年度版 原子力白書」(P188)
<https://www.aec.go.jp/kettei/hakusho/2024/pdf/6.pdf>

埋設施設の覆土予定



- 覆土全行程期間は、原子力規制委員会 N-ADRES「日本原燃(株)廃棄物埋設事業変更申請書」をもとに自社作成。
- 難透水性覆土期間は公開されている計画と埋設状況をもとにした当社の予想であり、今後の受注を保証するものではありません。

質疑応答

補足資料

■ 当社グループにおけるサステナビリティの考え方・基本方針

クニミネ工業グループは『経世済民』の経営理念を掲げ、貴重な地下資源であるベントナイトを中心に、高付加価値商品やサービスの展開により基幹産業を支え、国の繁栄に貢献してまいりました。

当社グループが中核事業として取り扱うベントナイトは、自然環境への負荷が少なく、生命体と環境にやさしい無機鉱物です。この貴重な資源を科学し、未来のニーズを創造することで、社会への価値を提供していきたいと考えています。

当社グループの技術を活用して、廃棄物処理などの社会課題の解決や、新たな産業を支援・創出していくことがESGへつながる取り組みと考えており、事業活動を通じて社会的な目標であるSDGsの達成を目指しております。

環境 (E)

● 環境へ配慮した取り組みを進めてまいります

- 自社CO2排出量の低減
- 循環型社会の実現を目的とした静脈産業への貢献
- 持続可能な社会に向けた製品の一層の研究・開発の促進



社会 (S)

● 人材投資の強化、労働環境を整備し、地域社会に貢献してまいります

- AI教育などの人材投資の強化
- 女性活躍推進法の推進
- 育児・介護休暇、年次有給休暇等の取得推進
- 高齢者雇用安定法に適切に対応し、長く働ける環境の整備
- 各拠点の経済活性化のため、地元の自治体や企業との協力



ガバナンス (G)

● リスクマネジメントを強化し、持続可能な経営を目指します

- 取締役会の監査・監督機能の一層の強化のため、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社への移行
- 取締役会の機能の一層の向上を図るため、取締役会の実効性評価を開始
- 内部通報制度の実効性向上のため、独立した社外の内部通報窓口を設置
- 取締役会の透明性向上のため、4名の独立役員を選任(4名/11名)



サステナビリティ関連事業機会実績値

- 当社グループでは、2024年3月期から2026年3月期におけるサステナビリティに関連する事業機会として『重金属、放射性廃棄物処分事業』『地熱発電事業』『農林水産振興事業』を重要事業機会と捉えて営業活動の強化、CO2排出量の削減、関連する研究開発投資、設備増強投資に注力して参りました
- 2024年3月期から2026年3月期までの実績値は以下とおりとなります

	関連売上高	関連設備投資	CO2削減量
実績 (24.3期～26.3期累計)	1,660百万円	159百万円	▲7,153t※
目標 (24.3期～26.3期累計)	2,320百万円	300百万円	▲3,000t

※2026年3月期におけるCO2排出量の実績については、現在集計中であるため、2024年3月期と2025年3月期の合計値を記載しております

人材の多様性確保・育成に関する実績値

- 当社グループは、性別・年齢・国籍・人種・宗教・障害の有無・性自認および性的指向等に関わらず、社員一人ひとりが、感受性や価値観等の違いを尊重し、企業価値向上および社会貢献を目指せる社内制度構築および環境整備を推進し、多様性を新たな発想、視点へとつなげ、組織横断的に連携し、イノベーションに向けて突き進んでいく集団を作り上げることを目指し、2026年3月期の目標値として、以下内容を掲げており、実績は以下のとおりとなりました

	23.3期実績	→	26.3期実績	26.3期目標
キャリア支援制度利用数	30件	→	16件	45件
e-ラーニング利用数※1	62.2回	→	33.3回	80.0回
エンゲージメントサーベイスコア※2	64点	→	67点	68点
女性管理職数	2人	→	3人	4人
平均勤続年数※3	12.0年	→	12.2年	13.0年
重大労働災害発生件数※4	0件	→	0件	0件

※1：株式会社Bizアップ総研が提供するオンライン研修サービス「e-jinzai」への月毎のアクセス数の平均。同一講座の重複受講及び全体教育は除外。

※2：調査には(株)アトラエが提供する「wevox」を利用、「自己成長への支援」を集計

※3：役員・短期臨時員・パートタイマーを除く

※4：重大労働災害：死亡、負傷又は疾病により、障害等級第1～7級に該当した労働災害

■ 「システムトイレ用鉱物ペレット」 の発売を開始



当社のペット事業においては、従来より猫トイレ用鉱物系ペレットを主力商品として展開しておりますが、従来品とは用途を異にするシステムトイレ用の鉱物系ペレットを新たに開発し、販売を開始いたしました。

本製品は、システムトイレ市場の成長に対応するとともに、当社の強みである鉱物加工技術を活かした高機能製品として位置づけており、価格競争に左右されにくい事業基盤の強化を図っております。

【本製品の特長】

- ・主原料であるベントナイトと消臭剤のW効果により、極めて高い消臭効果を実現しました。
- ・独自製法により撥水効果を付加。尿を素早く通過させ、ニオイのもとを残しません。
- ・リサイクル材の可燃素材を使用。可燃ゴミとして処分できます。

■ 生型砂用充填性改良剤 「フィルリキッドKK」の拡販を推進中



当社は、生型砂用充填性改良剤「フィルリキッドKK」を開発し、鑄造分野における新たな付加価値提案を進めています。

本製品は、生型砂混練時に少量添加することで水分を均一に分散させ、流動性と鑄型充填性を向上させる点に特長があります。これにより、造型不良や設備トラブルの低減、鑄型精度の向上などが実ラインで確認されており、鑄物品質の改善と生産性向上に寄与しています。

現在ユーザー評価および量産採用が進展しており、今後は市場拡大を図り、収益基盤の強化につなげてまいります。

機能や効果の詳細につきましては、下記URLをご覧ください。

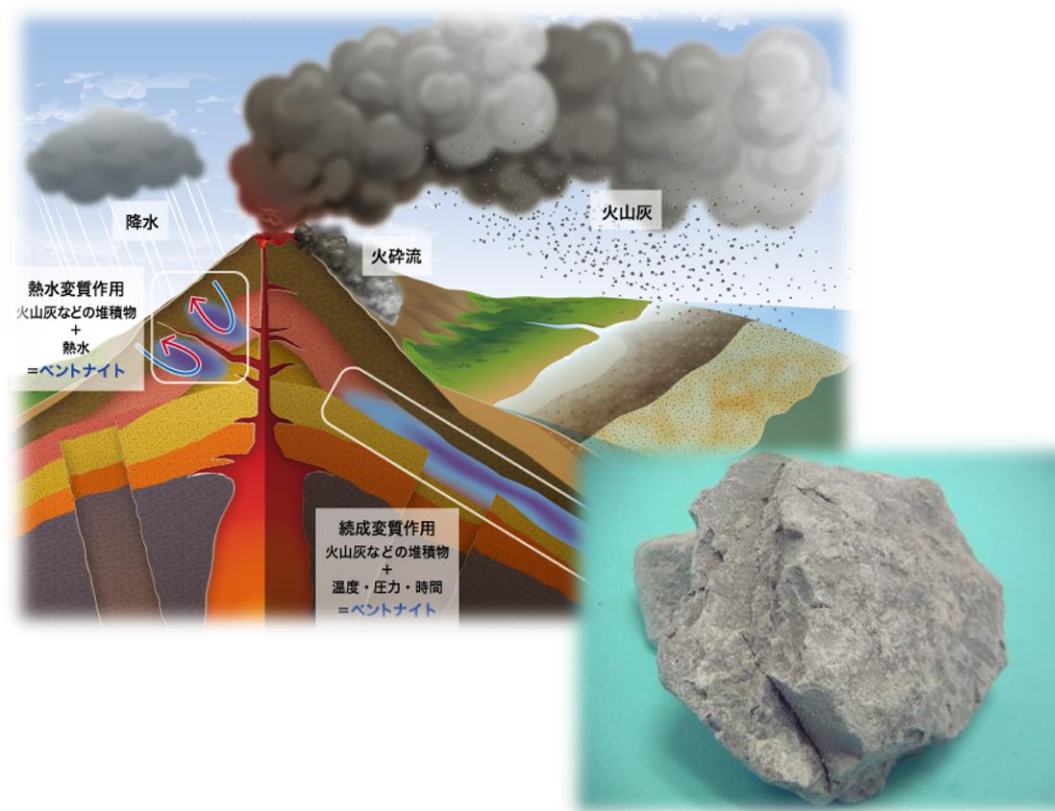
https://www.kunimine.co.jp/topix/research_development/a23

●ベントナイトとは？

ベントナイトとは、粘土鉱物であるモンモリロナイトを主成分とし、石英や長石などの随伴鉱物を含んでいる弱アルカリ性粘土岩のことを言います。米国ワイオミング州のFort Bentonで発見され、その地名に因んでベントナイトと名付けられました。

ベントナイトは、水中で吸収すると膨潤し、さらに分散させると粘性を示します。また、各種陽イオンを吸着できる能力など、様々な特性を持っています。

このような特性を有していることから、鋳物、土木建築、ペット用トイレ砂や化成品など、利用される産業分野は非常に多岐にわたっています。そのため、ベントナイトは“1,000の用途を持つ粘土”とも称されています。



参考資料 ベントナイトの用途

● ベントナイトの吸水



吸水でこんなに形が変わるんだ！



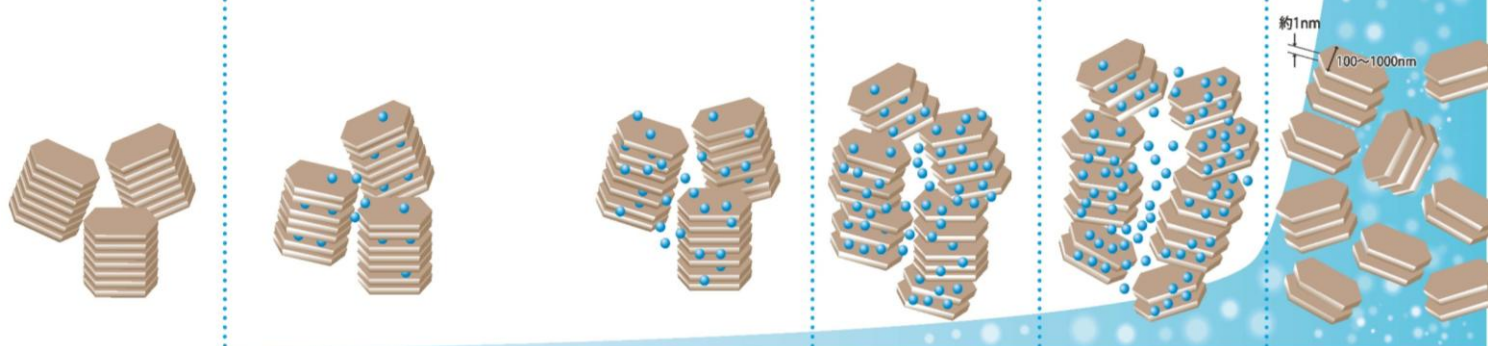
乾

含水量

湿

● モンモリロナイトの吸水 (イメージ図)

ベントナイトの中で何が起きているんだろう？



● ベントナイトの使用・活用事例

こんなに活用されているんだ！
まだまだ増えそう！



ペット用トイレ砂

廃棄物処分場

止水材

トイレタリー

塗料・塗膜材

ボーリング

防水シート

鋳物の型砂

化粧品

土木工事

素形材(鋳物)



自動車や産業機械の部品となる鋳物を造るための鋳型は、ベントナイトを粘結材として砂を成型することで造られます。この鋳型は生産性に優れたものであり、多くの鋳物生産に用いられています。

また、鋳物工場で排出される集塵ダストから重金属の溶出を防ぐ用途にもベントナイトが活用されています。

素形材分野では、ベントナイト製品の販売のみではなく、黒磯研究所での鋳物砂分析などを通じて、歩留まりの改善などお客様の様々なニーズに応える当社グループ独自のトータルエンジニアリングサービスを提供しています。

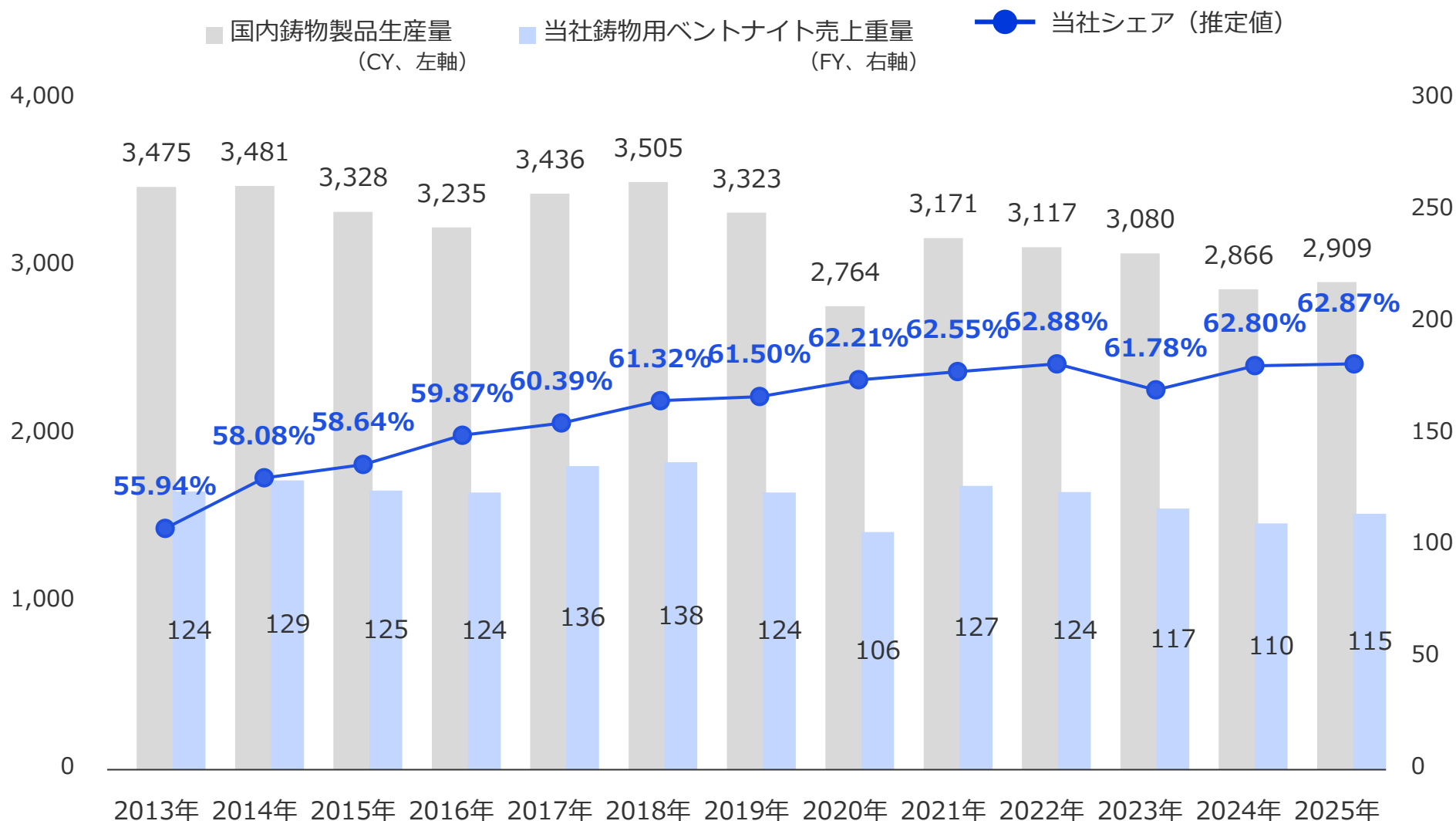
主力商品

- クニゲルVAS ●クニボンドTY ●ネオクニボンド
- 「クニボンドM」シリーズ ●「クニボンドTY」シリーズ
- クニフォース

参考資料 素形材分野 国内シェア推移

(単位：千 t)

(単位：千 t)



出所：一般社団法人日本鋳造協会
鉄鉄鋳物製品別生産量

※鋳物製品生産量より国内ベントナイト使用量を当社基準で推定し、シェアを算出

環境建設(土木)

ベントナイトの持つ増粘性、遮水性を活かして、建物の基礎となる杭を形成するアースドリル工法や、一般廃棄物処分場での遮水工事にベントナイト混合土が用いられているほか、「クニシール」や「クニシート」の止水材が、主に地下構造物の防水材料として使用されています。

今後、脱炭素化への流れを受けて、地熱発電や海底資源掘削等のボーリング需要も期待されます。更には、低レベル放射性廃棄物処理用途など、環境負荷が少なくコストパフォーマンスに優れたベントナイトのニーズが高まっております。

引き続き、国土強靱化に向けた国内主要インフラ整備事業への継続的な取組みに加えて、廃棄物処分関連や地熱発電事業への積極的な営業活動を展開してまいります。



「クニシール」

主力商品

- クニゲルV1 ●クニゲルV2 ●クニゲルGS ●クニゲルGT
- クニキャップTG ●クニシール ●クニシート ●クニフォースPX

ペット関連



ベントナイトの高い吸水性と粘結性を利用し、ペットの尿などの排泄物を固め、手軽に処理するペット用トイレ砂は、私たちの最も身近なベントナイト製品です。

今後は自社製品の取り扱いのみではなく、他ペットメーカーや大手小売店とのPB品の開発も進めるなど、お客さまのニーズへの柔軟かつ迅速な対応を図ってまいります。

当社新ブランド「RAGDOLL」公式Instagram



主力商品

- RAGDOLL プレミアムサンド
- 天然ジビエペットフード
- 猫砂1番
- 猫砂1番金印
- 猫砂1番大粒

ファインケミカル

独自の製法により天然ベントナイトを精製した「クニピア」、合成技術によって作り出された粘土「合成スメクトン」、さらに合成スメクトンの親水性質を親油性へと改質した「有機化スメクトン」など高機能製品を販売しております。また、ゴミ焼却場の排ガス処理工程において使用される「環境保全処理剤」も当部にて取り扱っております。

ファインケミカル分野における「クニピア」や「スメクトン」は、高純度と特徴づけられる素材の強みを活かし、セラミックス、塗料、樹脂といった工業製品に機能性材料として利用されています。さらに近年は、イオン交換技術をはじめとする、粘土の機能特性をさらに引き出すための技術開発に積極的に取り組んでおり、更なる用途拡大を目指しております。

主力商品

- 「クニピア」シリーズ
- 「スメクトン」シリーズ
- 「モイストナイト」シリーズ
- 環境保全処理剤



ライフサイエンス

「飼料添加物」用途においては、当社ベントナイトがカビ毒吸着能に加え、たんぱく質毒素も吸着する効能を生かし、畜産業界における治療から予防医療へのニーズシフトへ対応するとともに、今後は「動物医薬」用途なども開拓してまいります。

また、当社ベントナイトはクレイの一種として、増粘効果だけでなく吸着剤、乳化安定剤、保湿剤などの成分として多くの化粧品に採用されています。現在、天然由来の化粧品原料が注目を浴びており、精製ベントナイトのクニピアシリーズはCOSMOS APPROVEDを取得いたしました。最近では当社独自の精製技術を用いて、ベントナイトからモンモリロナイトを99%以上抽出した高純度クニピア「クニピア-RF」を上市いたしました。

自然の恵みであるクレイと私たちのテクノロジーを融合し、安心してお使いいただける製品を世界中へお届けしていきます。



主力商品

- クニボンドRT
- ダブルボンド ●ダブルフリー ●土壌改良剤
- クニミネ「ペプチオン®」
- 「クニピア」シリーズ

アグリビジネス

製剤技術に強みを持つ当社グループでは、農薬加工において薬効成分が放出される速度や量をコントロールする技術などを活かし、国内・海外の農薬メーカーなどから農薬の加工を受注しています。

農薬業界では消費者ニーズの多様化や商品サイクルの短期化に伴い、多品種少量化の流れが加速するとともに、殺虫・殺菌剤と除草剤のクロスコンタミネーションを防止する管理体制や薬害への対策強化が一層厳しく求められています。

当社グループでは、多品種少量生産とクロスコンタミネーション防止に対応できる体制を構築するとともに、独自の造粒技術に磨きをかけながら、受注を拡大してまいりました。

今後もITなどを活用した省人・省力化への設備投資とともに生産管理体制を強化しながら、顧客満足度の向上を目指してまいります。



主力商品・サービス

- 農薬受託加工
- クレー細粒剤 ● クニゲルV1 ● 天竜
- 「クニピア」シリーズ ● 「スメクトン」シリーズ

ご視聴ありがとうございました。

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

IRお問合せ先

<https://www.kunimine.co.jp/toiawase/ir.html>